

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

vol. **87** | 2021 Autumn

[特集]

小笠原海上保安署

巡視船「みかづき」の配備により、  
安全安心が強化。美しい海と島と  
人々を守る。



海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD



## PHOTO GRAVURE

- 01 東京オリパラ警備「過去最大規模」のメガイベント
- 02 熱海市で発生した土石流への災害対応  
海上保安庁初！測量機「あおぼずく」運用開始
- 03 練習船「こじま」38日間の国際航海を終え帰港  
須磨海岸に「うみがめマリン」が出現！！

## 04 [特集]

小笠原海上保安署

**巡視船「みかづき」の  
配備により、安全安心が強化。  
美しい海と島と人々を守る。**

10 エトセトラ 小笠原諸島

## 12 NEWS FLASH

**裏表紙**

**INFORMATION**

海の事件・事故は118番へ

海上保安庁のSNS



選手村を取り囲む巡視船



警戒中の警備救難艇



配備前ブリーフィング



昼夜を分かたずの警戒

海上保安庁では、世界最大の平和とスポーツの祭典である「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の聖火リレーや本大会において、万全な態勢で臨みました。

本大会では、選手村や多くの競技会場が海上又は臨海部にあるため、警備に従事した巡視船艇等は過去最大の勢力となりました。

具体的には、東京湾、サーフィン競技会場（千葉県一宮町）、セーリング競技会場（神奈川県藤沢市）を中心として、巡視船艇や航空機等による海上警備をはじめ、官民連携して旅客船ターミナルや水上バス船内の警戒等を強化し、テロ対策に万全を期すとともに、航行安全対策や災害対策にも取り組みました。

さらに、本大会期間中、連日の猛暑という過酷な環境での対応や新型コロナウイルス感染症への対策など、過去に例のない対応・対策が求められたことから、最前線の現場部隊とそれを支える後方支援部隊等が一致団結した総力での対応となりました。

このように、海上保安庁は、世界中が注目するこの大会を海上から支えました。



上空からのセーリング競技会場警戒

# 東京オリパラ警備「過去最大規模」のメガイベント

# 熱海市で発生した 土石流への災害対応



巡視艇いずなみ捜索救助状況



危険物回収状況



潜水捜索状況



夜間捜索状況

令和3年7月3日、静岡県熱海市で梅雨前線の影響による大雨により、海まで到達する大規模な土石流災害が発生しました。

第三管区海上保安本部では、「伊豆山土石流災害対策本部」を設置し、巡視船艇、航空機、特殊救難隊、潜水士および機動防除隊が行方不明者の捜索救助にあたりました。土石流が到達した伊豆山港では、海が茶色く濁り、がれきやガスボンベなどが浮遊する極めて困難な状況でしたが、懸命に捜索を行いました。



見張り窓(バブル型)



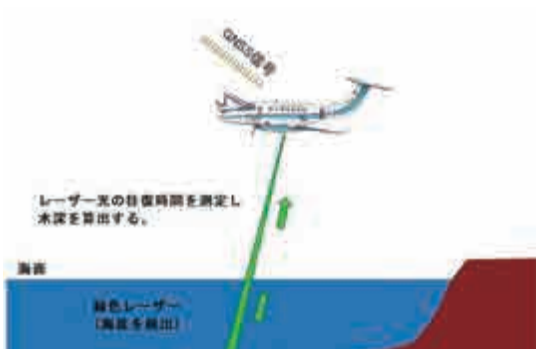
航空レーザー測深機搭載状況  
※左側が機首方向



貨物扉より専用器具を用いた  
測深機搭載作業



測量機「あおばずく」



航空レーザー測深のイメージ図

することができる機体となっています。

6月下旬に本格運用が開始され、今後、日本海沿岸から東シナ海にかけて測量を行う予定です。

令和3年2月22日に第二管区海上保安本部仙台航空基地に海上保安庁初の測量機(中型飛行機 MA871、愛称:あおばずく)が就役しました。この「あおばずく」は航空レーザー測深機を搭載しており、レーザー光線を照射することで、水深が浅い海域を安全に効率よく調査す

# 海上保安庁初! 測量機「あおばずく」運用開始

ホノルル入港時に迎えて頂いた方々へ登舷礼を行う実習生



令和3年8月13日、練習船「こじま」実習生46人（令和3年3月に海上保安大学校を卒業）及び乗組員37人は、118日間の遠洋航海実習を無事完遂しました。

2年ぶりに再開した国際航海では、新型コロナウイルスの影響で上陸はできなかったものの、ホノルル（米国）・コロール（パラオ）に寄港し多数の方々から歓迎を受けました。また、各地では、米国沿岸警備隊との行方不明者の合同捜索やパラオ海上保安機関との合同救難訓練を行いました。

これらを通じ、実習生は、国際感覚を磨くとともに外国の海上保安機関との連携の重要性を学びました。また、我が国海洋権益の確保に重要な父島、沖ノ鳥島等を巡り、見識を深めたほか、実習終盤の国内航海では、乗船した海上保安政策プログラム第6期生と交流を図ることができ、充実した実習となりました。



米国沿岸警備隊との行方不明者の合同捜索



米国沿岸警備隊と通信を行う実習生



パラオ海上保安機関との合同訓練



ベリリュエ島沖（パラオ）にて戦没者を慰霊



高校生に指導する大待官



プレハブ施設に描かれた「うみがめマリンの大冒険」



うみがめマリンがレジ袋を飲み込むシーン



神戸海洋少年団に指導する大待官



神戸海洋少年団作業風景

第五管区海上保安本部は、神戸市港湾局からの依頼を受け、令和3年5月から須磨海岸（JR須磨駅前）のプレハブ施設外壁に環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」を描きました。

原作者である海上保安官（大待雄治郎）のほか、兵庫県立兵庫工業高校デザイン科、神戸海洋少年団、神戸海上保安部のJCG神戸エコチームのメンバー延べ150人が、43日間をかけて製作しました。

プレハブ施設が鮮やかな海模様に生まれ変わるとともに、うみがめマリンが海岸や鉄道を利用する人々に海洋環境保全の大切さを伝えています。



# 118日間の遠洋航海実習 練習船「こじま」



# 須磨海岸に「うみがめマリン」が出現!!



# 配備により、 い海と島と人々を守る。

諸島。  
保安署。



## 離島であることの難しさ

小笠原諸島は父島や母島、兄島、姉島、弟島、妹島など30余の島々から成り立っている。総面積は106.88平方キロメートル。民間人が居住するのは父島・母島のみ。父島、硫黄島、南鳥島には自衛隊などの公務員が常駐するが、それ以外は無人島。昭和43年、アメリカから日本に復帰した歴史を持つ。

東京都だが、本土から南南東約1000キロメートルの太平洋上にボツンと浮かぶ離島。太平洋プレートがフィリピン海プレートの東縁に沿って沈み込むことよって誕生した。一度も他の陸地とつながったことがないため、独自の進化を遂げ、様々な固有種が数多く生息する東洋のガラパゴスと呼ばれる。平成23年6月には世界自然遺産として登録された。

交通手段は現在のところ東京・竹芝と父島を結ぶおがさわら丸が通常片道24時間かけて運航するのみ。それでも南国の楽園であることから、ダイビングや自然を楽しみたいとする観光客が数多く訪れる人気スポットだ。

この小笠原諸島の父島に、第三管区海上保安本部 小笠原海上保安署はある。

昭和59年10月1日、全国52番目の海上保安署として開設された。船艇を含めた総員22名。船艇は巡視船「みかづき」、監視取締艇「さざんくろす」が配備されている。



小笠原海上保安署。父島の清瀬地区にあり、小笠原水産センターに隣接する。小笠原諸島の存在により日本の排他的経済水域の約3割が確保されている。

「小笠原の難しさは、他の地域であれば何かあると応援を呼ぶことができるのに、遠く離れているため応援が着くまで時間がかかること。また島民や観光客に海難事故が発生し、内地の病院に搬送する必要が生じても容易ではありません」  
そう話すのは高山浩二次長だ。急患が出ると自衛隊のヘリコプターで硫黄島まで運び、そこから海上保安庁もしくは自衛隊の航空機で内地に送るか、海上自衛隊が保有する飛行艇で直接内地に送るしか手はない。過去、東京都知事要請による航空機での急患搬送は平成29年に28名、平成30年は28名、令和元年は23名、令和

2年も18名と常に要請がある状態である。「日本に離島は数多くありますが、航空機で運べるところがほとんど。ところがここではそれが容易にできない。小笠原の難しさがあります」と続ける。  
そのため職員は訓練を重ねてスキルを向上させることは大切だが、業務を継続的に遂行するためには健康維持と安全も重要となる。病気を患う、訓練で怪我をするなどした場合、島内の治療施設では処置ができないこともあるからだ。職員は身を守りながら島を守るのには、内地以上に苦労が伴うと漏らす。

平成26年9月中旬以降、小笠原諸島周辺海域等で中国サンゴ漁船又は外国漁船とみられる船舶が多数確認されている。そのため海上保安庁では関係省庁と連携して外国漁船の取締りを強化。海上保安庁では領海又は排他的経済水域において中国人船長13名を逮捕している。  
小笠原海上保安署には監視取締艇「さざんくろす」が配備されている。しかし全長7.9メートル、総トン数5トンの小型艇で堪航性に乏しく、外国漁船に睨みを利すには不十分だった。そのため令和3年、一定の外洋航行能力を備えた最新鋭の巡視船「みかづき」が配備された。全長43メートル、総トン数200トン。20ミリ機関砲1基を船首に装備するほか、

# 巡視船「みかづき」の安全安心が強化。美し

ポニンアイランドの愛称で親しまれている小笠原藍よりも青いポニブルーで活躍する小笠原海上過酷な離島の環境で挑み続けている。

取材・文・写真／大橋 博之 写真協力／小笠原海上保安署



## 島民の味方「みかづき」



小笠原海上保安署 署長

ふるた まさし  
古田 正志

「小笠原には古くから住んでいる住民も多く、島の皆さんから受け入れられないと我々の業務は成り立たない。我々も島民とコミュニケーションを深め、コミュニティにも参加し、協力して島民と共に小笠原の環境づくりに努めたい」  
昭和60年、海上保安学校を卒業。令和2年から現職。



小笠原ダイビングセンターを訪れた職員たち。小笠原海上保安署では、「海の事故ゼロキャンペーン」を実施。ダイビングショップなどのマリレジャー関係者や漁業関係施設を回り、ポスターやパンフレットを配布している。

遠隔操作式の高圧放水銃や停船命令等表示装置、遠隔探証装置なども備えており、小笠原諸島の海の安全を守る上でとても心強い存在である。

「みかづきは、外国漁船の取締りだけでなく、漁船や観光で訪れるダイバーなどの海難事故、海に漂う航路障害物の撤去などにも力を発揮します」

小笠原の海には、浅いところに見える岩礁があり、座礁することがある。そのため漁船やダイバー、シーカヤックの海難事故が発生する。

さらに、昨今、問題となっているのが海洋汚染だ。小笠原周辺の海にも島のものでないゴミが浮遊しており、航路障害物になっている。特に漁船が捨てたとみられる巨大な漁網は人力でも持ち

上がらない。「みかづき」「ささんくろす」が出動しての航路障害物の撤去作業は月に一度の割合で発生する。

様々な活躍を見せる小笠原海上保安署は、生活に船が不可欠な島民にとって身近で力強い存在だ。「みかづき」が配備されたことで、より大きな信頼が寄せられるようになった。「その分、責任の重さを感じる」という。

また、活動は海上だけに留まらない。海難事故を未然に防ぐという観点から「海の事故ゼロキャンペーン」にも取り組んでおり、ビーチにいる観光客に海難防止を呼びかけ、島の漁業協同組合、マリレジャー関係者へ安全指導・啓発活動も実施している。さらに、海洋環境保全にかかる指導・啓発活動も行い、人と海と島を守っている。

### 島民の安全安心のために

令和3年10月の引き渡しを目指して、船艇支援センターの建設工事が進められている。「みかづき」が配属されたことに伴い、船舶用品の保管場所と船艇職員の事務スペースなどとして活用される。3階建てだが、1階が普通の建物より高い。3階部分には船艇職員の事務スペースがあり、そこからは二見漁港が一望できるらしい。

「目的のひとつが津波対策です。これまで小笠原では津波による人的被害はありませんが、今後もないとは言いきれませ



警備救難係  
はっとり  
服部  
航  
わたる

ん。東日本大震災では東北地区の海上保安庁施設が津波の被害に遭いました。その教訓を活かした施設となっており、確実に海上保安業務が継続実施できるようになっています」

小笠原海上保安署に島民や観光客の命を守るための施設がまたひとつ加わろうとしているのだ。

「小笠原に今以上に安全安心をもたらします」と高山次長は力強い笑顔を見せた。

生まれが埼玉なので海に対する憧れがあったんです。幼い頃から海水浴などで海に親しみ、趣味がダイビングということもあり、海に関わる仕事がしたいと考えました。警備救難係として勤務しています。業務は安全対策、防災業務、海難事故防止活動など。また、情報通信担当として、システム関係で不具合があれば対応しています。署は人数も少ないため、「なんでもやる」という姿勢で取り組んでいます。赴任したのは令和2年4月です。良い時期に来ることができたと思っています。「みかづき」が来る前の署が経験でき、配置前後の業務、それに新施設の建設にも関わることができました。その分、忙しくはありません。

今までは保安署職員だけで完結していた業務が、総員22名で業務を完結させなければならない、組織が大きくなることによる難しさを感じますが、とても勉強になります。あと、歳の近い若い仲間が増えたのは嬉しいです(笑)。休みの日は趣味のダイビングを楽しんでいます。月に2、3回は潜っています。海は綺麗なで飽きることはありません。島の人たちはみんな、良い人ばかり。住みやすく、毎日、充実しています。島という性格上、地域の方と密着して業務を遂行しなければなりません。島民との関係性の構築が重要です。行事やイベントには積極的に参加し、親密な関係を築きたいと考えています。



小笠原海上保安署船艇支援センター。鉄筋コンクリート造、3階建て。巡視船「みかづき」のための備品庫であると同時に乗組員などの拠点となる。完成した後は小笠原諸島の安全の強化が期待される。



# 小笠原・父島にある三日月山から、「みかづき」と命名。島民に愛される船になる。



## 小型ながら外洋でパワーを発揮

巡視船「みかづき」は、令和3年2月16日に東京都江東区にある墨田川造船株式会社で引き渡し式が行われた。船長以下、乗組員全員が集合したのはこのとき。1か月間の訓練を経て3月18日、横浜海上防災基地で出港式を行った後、父島に向けて出発。翌、19日に父島に到着した。24日就役披露式が開催された。

「船の命名規則は船の大きさによって異なりますが、本船クラスだと山の名前から付けるのが一般的です。そのため父島にある三日月山から、みかづきと名付けられました」と山口貴志船長。島民に愛される船でありたいとする想いが込められている。

巡視船「みかづき」船長

山口 貴志



「みかづきをレベルアップさせ、活性化することが重要。船長としての知識や技術を磨き、国際的に活躍できるようにしたい」

平成21年、海上保安大学校を卒業。令和3年から現職。

山口船長は35歳。母親が新潟出身とのことから北朝鮮の拉致問題に関心を持ち、多くの人を助ける仕事に就きたいと考え、海上保安庁を志した。海上保安大学校を卒業した後、千葉海上保安部所属の巡視艇「たかたぎ」の船長などを経て「みかづき」の船長に就任した。

「船が新しくなり、前の船と入れ替わることはあります。しかし新しく建造され、配備されていないかつて部署に配備されるというのは、海上保安庁の歴史の中でも稀にみることに。それで、是非やらせて欲しいと希望を出しました」

選ばれたのが山口船長だが、当然、責任は重い。

「業務は外国漁船の取締り。領海警備を主軸に、外洋をパトロールすることです。また、小笠原には漁業やダイビング業をされている方が多いので、海での事故が発生した場合の救難業務。加えて、ビーチの事故対策や事故を起こさないための指導も必要です。外に出れば外国漁船に目を向け、戻ってくるときは地元を向ける。島の皆さんの身近にいるのが我々の特徴です」

近所の保育園の園児たちが散歩中に停泊している「みかづき」の前を通ることがあり、園児たちが手を振ってくれるとほほ笑む。

「離島は初めての経験ですが、メインストリートやビーチに行けば島の人々や遊んでいる観光客も多い。そこでは時間がゆっくり流れていて自分たちの生活がある。と



パトロール中のさざんくろす



入港作業中の巡視船みかづき



二見漁港に停泊中の巡視船みかづき



巡視船みかづき就役披露式

でも過ごしやすい環境です」  
だからこそ、人々が生きる平和な小笠原を守りたいと山口船長。

### チームワークを高める

山口船長はリーダーとして、乗組員を指揮する。

「操船はもちろん、船全体の責任を持つと共に、船内の環境にも気を配るのが船長の役割です」

乗組員は毎朝、体操を行い、身体を目覚めさせると共に、怪我の防止と体力維持を図る。そして出港をして父島周辺から母島、硫黄島など、船が運航する場所をパトロールする。場合によっては洋上で一泊する。船を走らせずにビーチのパトロールや、業務に必要な基礎訓練をこなすこともある。

また、乗組員は特に強化したい訓練を船長に提案する。船長は気象海象や外洋、地元などの状況を総合的に見て何が大事かを判断してスケジュールを決める。

「みかづき」は、24時間、何時でも出動できる体制を取っている。そのため、二代から五十代と幅広い乗組員が緊張感をもって常に備えている。多様な人間をひとつのチームとしてまとめることが重要となる。

「船長には先頭を走るタイプもいれば、後方から全体を見るタイプもあります。私はプレイングマネージャータイプ。乗組員の長所や得意不得意を理解し、適材適所でアプローチする。そして状況が変われば修正

していきます」

単純に全体をまとめようとするのではなく、あくまでも乗組員の立場から物事を考えるのだという。乗組員同士でも活発な意見交換を行い、チームワークを深めている。

### 初代船長の責任

「みかづきは初めての配置のため、下地がありません。みかづきならではの業務スタイルを作ることが目標です」

海上保安庁のなかでも話題になり、「みかづきに乘ってみたい」という若い職員が増えて欲しいと語る。そのためには「みかづき」をレベルアップさせ、活性化することが重要だとする。さらに、個人的にも船長としての知識や技術を磨き、国際的に活躍できるようにしたいと気を吐く。

「私がつつとみかづきの船長を務めるわけがありません。二代目、三代目にバトンを渡すときに恥ずかしくないようにしないといけない。責任は重いと思っています」

外国漁船の取締りから、救難業務、海域パトロール、そして乗組員と「みかづき」のレベルアップ。初代船長の使命は重い。小笠原諸島を守る山口船長は、真っ黒に日焼けした顔に白い歯を見せる。

機関士補

大前 昂希

KOKI OMAE



父が自衛官だったこともあり、人々を守る仕事をしたいと考えたのが動機です。海上保安庁を選んだのは、父と同じ自衛官に進むより、父とは違う道を歩みたいと考えたからです。

また、出身が海のない埼玉なので、海への憧れもあり、海で働きたいと思いました。

私は関東圏を管轄する第三管区での採用です。小笠原は管区で唯一の保安部署が所在する離島。特殊な業務が経験できると考えました。また、人員も少ないので、いろんなことにチャレンジできるとも思いました。

機関士補として、エンジンの整備を担当しています。船では航海士が注目されますが、裏で支えたいと思い、機関士を志しました。もちろん、機械いじりが好きなので、エンジンについて詳しくなれるとも考えました。

小笠原の魅力は綺麗な海と自然です。東京都ですが、海外に来ているような感覚です。もっと街は小さいかと思っていたのですが、想像以上に広く、快適に過ごせています。休みの日は仲間と野球やサッカーをしています。内地にいるときよりも身体を動かしています。ダイビングの経験はないので、小笠原にいた間に経験したいですね。

私は船が好きなので、いろんな船に乗っていろんな知識を高めたいですね。そして、住民の皆さんから信頼される海上保安官になりたいと思っています。

海上保安庁に勤めてもう33年になります。もともと身体を動かす仕事がしたくて探していたところ、海上保安庁のポスターを見て知り、潜水士になったのが始まりです。

小笠原に来る前は



沖縄・石垣島の尖閣諸島で3年ほど領海警備を行っていました。特殊救難隊や機動救難士関係の仕事を務めていたこともあり、レスキューも全般的に担当していました。

その尖閣諸島での領海警備の経験を、初めて配備される船で活かせればと思い志願しました。また、小笠原ではレジャー事故が多いと聞き、レスキューの経験も役に立つと考えました。

機関長を担当しています。エンジンが動かないと船は稼働しません。日々のメンテナンスが重要です。いつでも出港できて、緊急時にも、現場にすぐに向かえるように。陸上で整備士がいてメンテナンスするのではなく、船に乗って動かしながらメンテナンスするので、常に緊張はあります。

また、新しいタイプの船なので、調子を保つのは手探りの状態です。トラブルがあっても小笠原は離島のため、誰かに来てもらうのも大困難。できる範囲で我々が処理しないといけない。ただ、性能が優秀なのは間違いありません。同じ離島でも沖縄とはかなり違います。小笠原は静かなのでとても過ごしやすいですね。

今はまだ、「みかづき」がどのような形で活躍できるかを乗組員全員で探しているところです。2、3年後には小笠原に定着し、島民や観光客に親しまれ、頼りにされる船になればいいと思っています。

機関長

林 輝彦

TERUHIKO HAYASHI

## INTERVIEW

主任航海士

佐名 賢三

KENZO SAME



父が海上保安官で憧れたのが大きな理由です。というのは幼稚園のとき、職場体験で父が仕事をしている姿を見て「楽しそうだな」と思ったからです。

新しい船ができるタイミングと異動の時期が重なったので志願しました。新しい船に興味もありましたし、最初のメンバーとして乗船できるのは貴重な経験になると考えました。

主任航海士を担当しています。上に航海長、下に航海士補があり、真ん中に位置するので航海長からの指示で作業が円滑にできるように航海士補に橋渡しをすることも必要になります。また救難も担当しており、救難での支援や救難事案で資器材がいつでも準備できるように整理しておくことも仕事です。大きな事故は、いつ起きるか分からないため気は抜けません。

私はまだ、現場は3年目なので知識や経験、技量は足りていないと感じています。でも、経験豊富な乗組員もいる。多くのことを吸収したいと考えています。

今後は、小笠原に「みかづき」が配備された意味を考え、何が求められ、どう対応できるのか、できることとできないことを見極め、できないことはできるようにする。一つひとつステップアップしていきたいと考えています。

事務職より身体を動かせる仕事がしたいと考え海上保安庁を志望しました。幼い頃に近所で火事があり、消防車が来て消火活動をしているのを見て「人を助ける仕事はカッコいい」と憧れたことも理由です。



主計士補として、調理業務と事務処理を担当しています。もちろん、訓練にも参加します。それはどの担当の乗組員でも同じです。

調理業務では、カロリー計算をして乗組員の体調管理をするということよりも、お腹いっぱい食べてもらうことを常に考えています。

当初、小笠原では食材の調達が難しいのではと不安に思っていたのですが、来てみると居酒屋さんやペンションもある。その方々と同じように食材を確保できるので安心しました。ただ、島は少し物価が高いんです。予算が決まっているのでどのような食事を用意するかで日々、頭を悩ませています。内地なら出前やお弁当を調達して変化を付けることもできますが、それも簡単にはできません。

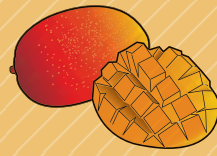
仕事では調理師免許を取る必要はないのですが、私は取得しました。今まで調理なんかしてこなかったのに、主計士補になった。自分でも驚きです。でも、職場で調理をしているので、休みの日は外食ばかりです(笑)。将来は大きな船に乗り、料理で多くの乗組員に楽しみを与える、力を与えられるようになりたいと思っています。

主計士補

阿部 佑行

YUKI ABE

# エトセトラ



取材・文／大橋 博之



小笠原諸島は2011年6月、世界遺産に登録されました。一度も陸でつながったことはなく、海で隔てられた小さな島々では、独自の進化を遂げた固有の生き物が数多く生息し、織りなす生態系を見ることができます。そのため、東洋のガラパゴスと呼ばれています。



## 大自然



父島には中央山展望台やウェザーステーションなど数多くの展望台があり、父島の景色を見渡すことができます。特にウェザーステーションからは、水平線に沈む夕日を見ることができ、観光客にも人気のスポットです。また、島は自然が溢れていて、南国の植物を見ることができます。

### 小笠原ビジターセンター



小笠原を観光する前の情報収集のためにぜひとも立ち寄りたい。小笠原諸島が誕生してからの歴史や珍しい動植物が紹介されています。

問い合わせ  
小笠原ビジターセンター  
04998-2-3001



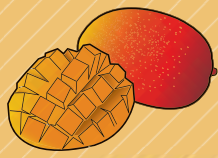
## いきもの



アオウミガメやイルカ、クジラを見るために小笠原諸島を訪れる観光客は少なくありません。他にもコガネカタマイマイ、ヒメカタマイマイ等のカタツムリや、ワダンノキ（草が樹木と変化したキク科）、シマムラサキ（乾性低木林の低木層に分布）等の植物など、固有の生き物が生息していることが特徴です。

アカガシラカラスバト（天然記念物、希少種）、オガサワラオコウモリ（天然記念物、希少種）、オカヤドカリ（天然記念物）などの生き物や、マルハチ（固有種）、タコノキ（固有種）などの植物も見ることができます。





# 小笠原諸島

## ビーチ

大村海岸やコペペ海岸、小港海岸などは、白い砂におおわれ、南の島らしいきれいな海岸です。歩いてしかいけません。西海岸という海岸の砂は、「うぐいす砂」と言われる緑色の砂をしている海岸であり、父島でも一部でしか見ることができません。(海岸の地質が、無人岩という珍しい鉱石のためにこのような色をしているとのこと)。



## アクティビティ

父島では、ダイビング、カヌーが観光客には人気です。シュノーケリングも気軽にでき、島の人も含め、気軽に楽しんでいます。



小笠原ダイビングセンター

小笠原では老舗のダイビングショップです。他にも数多くのダイビングショップやツアー会社があり、さまざまなアクティビティを楽しむことができます。



## グルメ



父島の名物は、ウミガメを使った亀刺し、亀煮。父島周辺で採れたパッションフルーツ、島レモン、パパイア、シカクマメなどが名物です。



### 洋風居酒屋 CHARA

父島特産の食材を利用したメニューが豊富にあるお店です。他にも数多くの飲食店があり、食は充実しています。



# NEWS FLASH

2021.7~9

7月

7/1



七管区

三池

超BIGサイズ！  
LEDビジョン及びYou Tubeでオリジナル  
動画（学生募集・海難防止啓発）放映



七管区

唐津

地元小学生と一緒に離岸流調査を  
実施

7/6



八管区

舞鶴

みつる幼稚園から  
七夕笹飾りの贈呈イベント

7/8



七管区

唐津

地元図書館に海保特設コーナー  
設置



七管区

北九基地

ファルコン2機目就役  
～日本の空は任せんね！～



四管区

四日市

四日市市立博物館へ  
古海図の寄贈

7/14

7/16



三管区

小笠原

小笠原村父島で聖火リレーの海上警備

7/17



四管区

鳥羽

セイウチと海猿のコラボ！  
～鳥羽水族館にて海の事故ゼロキャンペーン～

7/19



六管区

広島

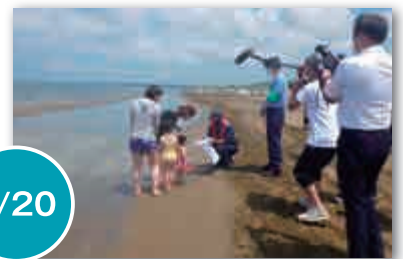
広島観光親善大使が  
海の事故ゼロを呼びかけ！



大学校

夏の恒例訓練「遠泳訓練」

7/20



九管区

金沢

羽咋警察署との千里浜海水浴場  
合同パトロール

7/21



一管区

本部

海中転落事故を疑似体験！  
記者向け安全啓発イベント開催！

7/22



九管区

金沢

金沢市消防局音楽隊 50周年記念コンサートに参加  
海難防止周知活動及び学生募集活動を実施

7月

7/29



四管区

衣浦

刈谷ハイウェイオアシスで海の事故ゼロキャンペーン実施!!

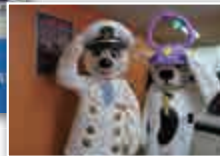
7/29



七管区

唐津

唐津市と唐津海上保安部との包括連携協定



7/29



四管区

本部

クリエイター「からめる」とコラボした118番PR動画の公開開始

7/30



三管区

本部

定例記者会見に伊豆山土石流災害の捜索救助活動を行った巡視船おきつ潜水士が参加

8月

8/1  
〜  
8/31



六管区

宇和島

夏休み1日2組限定! 個別業務説明会が盛況

8/4  
〜  
8/31



九管区

金沢

ケーブルテレビを活用した海の事故ゼロキャンペーン周知活動

8/10



四管区

四日市

巡視艇乗組員によるアカウミガメの救出

8/17



本庁

音楽隊

「虹」/ 菅田将暉 YouTube 配信!

9月

9/1



一管区

本部

北海道コンサドーレ札幌とコラボ! じょうてつバスにコラボ広告を掲載!



六管区

宇和島

六管初! 巡視船艇カードを作成!



本庁

音楽隊

海上保安庁愛唱歌「はばたき」 YouTube 配信!

9/9

## 海の事件・事故は118番へ



海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」は、海難や悪質・巧妙化する密輸・密航等の事犯に迅速かつ的確に対応するため、平成12年から導入したもので、2021年海上保安庁118番イメージモデルに篠田麻里子さんを起用して周知活動を行っています。

また、令和元年11月から、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により、海上保安庁への緊急時の通報が可能となる「NET118」の運用を開始しました。

「118番」が導入されて20年を迎えますが、通報の多くが間違い電話等であり、未だ十分に浸透していない状況です。

海上保安庁では、海難情報の早期入手等のため、引き続き、国民の皆様への浸透を目指して周知活動を行っていきます。



### 「NET118」登録方法



本サービスは「事前登録制」のサービスです。  
こちらのコードを読み取るもしくは、entry@net118.jp  
を直接あて先に入力して空メールを送信、登録用メールが  
返ってくるので、案内される手順に従い登録してください。

## 海上保安庁のSNS

海上保安庁では、TwitterやYouTube、Instagramで、さまざまな情報を発信しています。

### YouTube



★公式ユーチューブ

<https://youtube.com/channel/UC3yxhEkCZKaDa-SdzaWECaQ>

### Instagram



★公式インスタグラム

[https://www.instagram.com/japan\\_coast\\_guard/](https://www.instagram.com/japan_coast_guard/)

### Twitter



★公式ツイッター

[https://twitter.com/JCG\\_koho](https://twitter.com/JCG_koho)



★採用ツイッター

[https://twitter.com/JCG\\_saiyou](https://twitter.com/JCG_saiyou)

— 海上保安庁 —

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 Tel. 03-3591-6361 HP. <https://www.kaiho.mlit.go.jp/>